

しんき

新たな旅立ち

館長 比田井 克 仁

歴史民俗資料館は平成元年10月に産声を上げ23年になりますが、人間でいえば23歳は社会への旅立ちのときでもあります。折しも中野区では大幅な組織改正が行われ、歴史民俗資料館も新しい運営形態となりました。企画展や講座など各種事業を専門の民間業者に委託して、その能力と技術を最大限に活用することとなりました。そして、中野の歴史文化を再発見できる憩いの場所として、さらに内容豊かな、充実した事業展開をめざしてまいります。つきましては、皆さまのご支援・ご協力を賜りますよう、ごあいさつ申し上げます。

平成22年度中野区新指定文化財



名称 中野区指定有形文化財（絵画）「江古田獅子舞巡行絵巻」歴史民俗資料館蔵 1巻
 形状 217cm×29.3cm 紙本 軸装
 制作年代 江戸時代末期
 来歴 旧江古田村名主家である山崎家に残されていたもので、弘化4年（1847）に江古田氷川神社神楽殿の天井格子絵を描くために山崎家に逗留した絵師が描いたものと伝えられています。

絵画としての特徴

構図全体から見て、鑑賞用絵画としてではなく記録を重視した絵画と考えられます。絵巻の中心画題である獅子舞行列部分の表現は四神を先頭に花笠にはさまれて獅子が描かれておりこの様子は、現代まで継承されています。この部分の描き方は全体的に安定性があり、細部の表現にも注意が払われています。

細やかな筆致、抑揚のない細線は専門絵師の筆によるものと考えられますが、流派などを特定できる特徴は認められませんでした。

しかし、当時の農村地帯における伝統芸能の様子を正確に記録している点は類例を見ないので、絵画資料ばかりでなく民俗資料としての価値は高いものです。

大地に眠る歴史

中野区の遺跡(10)

前号で、上高田五丁目の遠藤山遺跡の古墳を紹介しましたが、南部の弥生町六丁目の向田遺跡でも2基の古墳が発見されています。周りの溝の一部のみの調査でしたが、そのうちの1基の周溝の底からはお葬式のお供え用の土器(埴)が2点出土している点は遠藤山遺跡の古墳と同じでした。土器の年代は5世紀末のものと考えられます。

これらのことから、5世紀末から6世紀前半に、中野区内の南北にそれぞれ首長が存在していたことが明らかにされました。

それでは、これらの首長を支えていた人々の集落はどこにあったのでしょうか。現在、北部では野方三丁目の北原遺跡、南部では神明小学校校庭遺跡が確認されています。

北原遺跡では、6世紀前半の竪穴住居跡が2軒神明小学校校庭遺跡では1軒調査されています。



北原遺跡2号住居跡の「かまど」と「貯蔵穴」：貯蔵穴に炊事に用いる土器が収納された状態で発見されています。

この時代の竪穴住居は弥生時代とは大きな違いがあります。それは、炊事をする所が、弥生時代では竪穴の中央で火を焚いた「炉」が用いられていましたが、5世紀後半には一方の壁面に「かまど」をしつらえるようになります。かまどは、主に粘土で造られた箱型の構造で、正面の焚口から薪をくべて、中に立てられた甕かめに火を当てる構造です。熱効率が高く、炊事の時間も短縮されたことでしょう。この台所構造は、朝鮮半島から伝わったものと考えられています。「かまど」の脇には長方形の穴が掘られていることが多く、中から炊事に使う土器などが出土します。専門的には「貯蔵穴」と呼びますが、鍋や釜を収納する目的で作られたものです。(つづく)

古文書つづり

ヒンヤリくらいが ちょうどいい

昨年の経験があったとはいえ、やはり驚くほど暑い夏でした。原発事故(事件?)に端を発する節電態勢のなか、エアコンのありがたさを再認識した方も多いのではないのでしょうか。中野区では空調の設定を29℃に上げるなど省エネに努めましたが、都内のA区は「街なか避暑地」計画により図書館など公共施設の空調をあえて効かせて人を集め、家庭での消費電力節減をねらったそうです。本欄担当者のように「25℃以下の常温で保存してください。28℃を超えると品質を大いに損ないます」というチョコレートのような体質の者にはうらやましい話であり、事実この夏はただでさえ低い作業能率が極端に落込みました…軟弱ですね。

個人的なことはさておき、過度に暑い環境は人間にとって望ましくありません。そして同じ有機物である紙つまり古文書にも、高温(と高湿)は負担になります。次の表をご覧ください。

平均相対湿度	70%	50%	30%	10%	
平均温度	35℃	14	19	30	68
	25℃	74	100	156	357
	15℃	274	581	905	2070

(R.D.Smith 1970を一部変更)

これは気温25℃・湿度50%の環境における紙の有効寿命を仮に100とし、温度と湿度を変化させると寿命がどう変化するかを表します。木材から作る一般の紙と和紙とでは原料も製法も異なりますので参考程度ですが、15℃・10%なら20.7倍の長寿を期待できる一方、35℃・70%だと86%減の短命になるという驚くべき数値がでています。

ではとにかく低ければいいのかというと、そう簡単にはいきません。実際上は温湿度の高低より安定した環境であることの方が重要で、急激な変化を繰り返すと寿命は大幅に縮みます。また取り扱う場合、ある程度の水分は潤滑液になるため欠かせません。こうした条件を考え合わせ、文化庁は資料保存環境の標準温湿度を気温20℃・湿度60%(ただし地域差による調整は可)としました。

収蔵庫も職場も地球も、やや涼しいくらいが望ましいとチョコレート体質の私は常々思っているのですが、皆様いかがなものでしょうか？

東京都指定名勝

哲学堂公園

2009年2月、東京都の都指定名勝に指定されました。

1. 指定基準

「東京都文化財指定基準」（昭和52年1月14日東京都教育委員会告示第2号、最近改正平成19年11月16日東京都教育委員会告示第63号）第7 東京都指定名勝次に掲げる風致景観の優秀なもので古くから名所として知られているもの又は芸術的若しくは学術的価値の高いもの
ア 公園、庭園等

2. 所在地 中野区松が丘一丁目1番5外（中野区松が丘一丁目34番28号）
新宿区西落合二丁目664番1

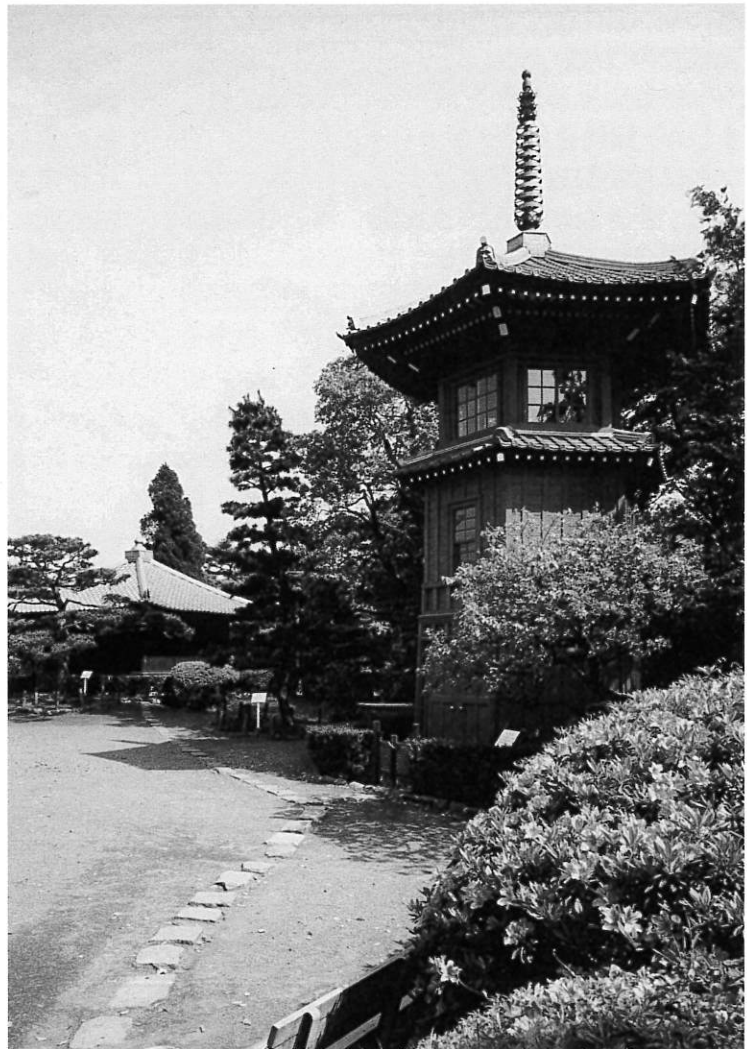
3. 所有者 中野区 新宿区

4. 指定面積

中野区 28,723.9㎡（実測面積）
新宿区 3,585.0㎡（実測面積）
合計 32,308.9㎡（実測面積）

5. 指定理由

哲学堂は、哲学者井上円了が精神教育、社会教育の「精神修養的公園」として、全体を哲学空間の概念を体現する場として創設した他に類をみない空間（公園）である。四聖堂、六賢台、宇宙館などの堂宇は周囲の景観とも良く調和している。広く都民に親しまれた名所であり、学術的価値も高い。



文化財のある町

中野区内にある文化財の中で、近年、哲学堂公園と野方配水塔(国登録有形文化財2010年)が、国や都でも、貴重で価値の高い文化財として認識されました。この2つの文化財のある一帯は、昭和の初めに、すばらしい景観を持つ風致区として、野方風致地区に指定されていた場所でもあります。今回は、哲学堂公園、野方風致地区とその文化財を紹介します。

哲学堂公園

哲学堂公園は、井上円了博士が、東京府下名所の一つで、源頼朝の重臣和田義盛が陣屋を置いたという和田山の地を購入し、明治37(1904)年に哲学館が大学として許可されたことを記念して、四聖堂を建てたことに始まります。最初は、大学移転用地にと考えていましたが、明治39年哲学館大学学長を退くにあたり、哲学堂を自称道德山哲学寺とし、社会教育の道場、哲学実行の根本中堂として、精神修養の為の公園を設立することに変更しました。建物を始め、樹木や河川、斜面地、泉などに哲学的意味を持たせた七十七場が設けられ、歩きながら考える公園になっています。

全国各地を講演旅行した際、旅先で掛け軸や書を揮毫し、その謝礼の半分を講演会経費若しくは地方公共事業に寄付し、あとの半分を哲学堂建設・運営の費用に充てたといいます。明治37(1904)年最初に造られた世界の四聖を祀った四聖堂をはじめとし、東洋の六賢人を祀った六賢台、日本の神道・仏教・儒教の三道の碩学大家を祀った三学亭、宇宙館(講義室)、无尽蔵(陳列所)、絶対城(図書館)などが徐々に造られ、大正4年には、だいたいの今の形が整えられました。

このように円了博士が私財を投じて作られた哲学の道場は、博士なきあと、その遺志に従って、昭和19(1944)年東京都に寄付され、都立哲学堂公園として整備されました。さらに昭和50(1975)年には中野区に管理が移され、中野区立哲学堂公園となりました。

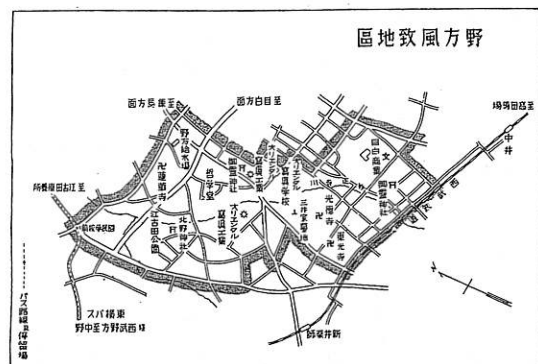
昭和57年には、文化財として保護するために、主要な建築物である哲理門、四聖堂、宇宙館、絶対城、六賢台、三学亭の6棟の調査

が行われました。そして、昭和59年1月に区指定有形文化財第1号に指定され、順次修復が進められていきました。さらに昭和63年には、古建築物(常識門、髑髏庵、鬼神窟、无尽蔵、演繹観)と一帯の周辺環境が、区指定有形文化財に指定されています。

また、創立以来70年以上が経ち、建物が傷んだり、失われたり、湧水が涸れたりしていました。そこで、昭和62年に、かつての姿を甦らせるために「哲学堂ルネッサンス構想」が作られました。構想に基づき、公園成立時の時代考証を実施し、整備工事が実施されていきました。唯物園の中で失われていた客観廬が復元され、水が涸れ、消滅していた唯心庭の心字池もポンプを使って、井戸から水を汲み上げ、貯溜、濾過、循環を行って、見事に復活されています。

野方風致地区

都市計画風致地区とは、大正8年(1919)4月に公布された都市計画法の規定によるもので、都市の風致(樹林地、水辺地などで構成された良好な自然的景観)を維持するために定められた地区のことをいいます。最初に指定されたのは、大正15年9月に明治神宮内外苑に通ずる参道とその周辺区域でした。次いで、昭和5年に多摩御陵の周囲、洗足、善福寺、石神井、江戸川の5地区が指定されました。



旧野方町及び旧淀橋区落合町の21万余坪の地域が、野方風致地区として指定されたのは、昭和8年1月のことでした。この地域内には哲学堂、蓮華寺、御霊神社等があります。妙正寺川の清流がその間を流れ、丘陵、平坦地、櫻林、雑木林といった、武蔵野の風趣豊かであり、理想的な住宅地でした。昭和12年に東

京府風致地区協会連合会刊行の『風致』に鳥居龍蔵氏が「一風致地区ハイキング—哲学堂を中心とする野方風致地区」と題して詳しく紹介しています。「この地区は井上哲学堂、御霊神社、三井墓苑等を中心とした旧野方町と落合町の一部214,000余坪を言い、哲学堂の案内記に「當面には富士山を仰ぎ、脚下には妙正寺川の清流を帯び、すこぶる眺望に富む…」とあるように、十数年前迄は人家も疎らで野趣随所にあふれていたが、大正12年の震災を一転機とした郊外の急激な発展は必然的に此所にも波及して現在では目白台地へかけて多数の住宅が建ち並び殊に区画整理事業の進捗は之に拍車をかけて一段の発展を見るに至ったが、今尚緑林に富み、且つ地形の起伏変化は風致上重要な使命と効果を与えている。」このように、景観を守りながら、町も発展していたようです。しかし残念ながら、野方風致地区は、景観の変化などを理由に昭和38年10月廃止されています。

北野神社（松ヶ丘天神）（松が丘2-27-1）

片山の鎮守で、長い間天神社と称していましたが、明治5年に北野神社と改称しました。祭神は菅原道真公です。太田道灌が、江古田原沼袋合戦の際、戦勝祈願したとも伝えられています。「オビシャ」と称する行事がありました。元は、弓で的を射り、豊作を占うものでしたが、次第に形が変化しました。定められた祭典が終わると当番の家で祝宴が行われます。宴たけなわになると、次の年にオビシャの宿となる家の主人に北野神社の掛軸を渡します。その際、片山村に伝わる謡を吟じます。続いて、各々謡を謡います。学童も祝いの文を朗読します。祝宴の終わり頃には「お高盛り」が行われます。大きな黒塗りの椀に山のように盛り上げたご飯を一粒も残さず食べつくし、満腹の幸福を味わうというものです。

江古田公園（松が丘2-29, 35）

江古田土地区画整理組合より提供された土地に昭和14年に造られた、区画整理公園です。妙正寺川を挟んだ北側の平坦地部分と南側の丘陵地部分があります。丘陵地は、現在でも武蔵野の雑木林の風景を残した、自然の

散策路になっています。

星光山 蓮華寺（江古田1-6-4）

池上本門寺の末寺で、元は神奈川県星川村にあった寺院です。深野孫右衛門氏が、寺社奉行大岡越前に願い出、元文5（1740）年当地に建立しました。井桁の上に円形の石を置いた、井上円了自身のデザインのお墓があります。

野方配水塔（江古田1-3）

「みずのとう」と呼ばれ親しまれている、高さ33.6mで、鉄筋コンクリート造りの塔は、昭和4（1929）年に完成しました。大正12年（1923）関東大震災の後、東京市周辺の急速な都市化に対応する為に、大正15年豊多摩郡、北豊島郡13町村連合の荒玉水道町村組合が作られました。多摩川流域の砧で取水し、浄水

場で濾過した後、駒沢（世田谷）、野方、大谷口（板橋）に作られた配水塔に送られ、自然投下によって各戸へ給水されました。



日照山阿弥陀院 東光寺（上高田5-21-5）

開山年は不詳ですが、墓域には、慶安・寛文・貞享・元禄等の立年をもつ墓石が現存し、また、墓地中央部に元禄三年刻銘の施主14人が極楽往生を願って建立した、弥勒半跏像があります。これらのことから、江戸時代初期に農民の菩提所として開かれたと推察されます。真言宗豊山派で、本尊は薬師如来像です。

七星山息災寺 光徳院（上高田5-18-3）

開山当時は半蔵門にありましたが、牛込市谷田町、牛込柳町を経て、明治43年、現在地に移ってきました。本尊は大日如来ですが、他に寺宝の千手観音菩薩立像があります。高さ3尺3寸の木像で、鎌倉仏師の定慶もしくは椿井仏師の系統に連なる作品と考えられ、鎌倉時代末期から南北朝時代にかけての作とみられます。区指定有形文化財です。

中野区立歴史民俗資料館の井上円了資料

当館には、哲学堂の創始者である井上円了博士（以下、円了）に關係する収蔵品が約1000点あまり保管されています。その種類は実に様々で、円了自身が国内外で集めた道具類や、拾ったと思われる流木・石の破片、そして哲学堂で使用されていた瓦や聯などがあります。これまでの企画展や特別展で、これらの資料の一部をご覧になった方も多いのではないでしょうか。

「お化け博士」「妖怪博士」などと呼ばれることが多い円了ですが、一体どのような人物だったのでしょうか。円了は、江戸末期の安政5年（1858）に、現在の新潟県長岡市の浄土真宗大谷派慈光寺で誕生しました。長男だった円了は13歳の時に、京都の東本願寺で得度します。その後、長岡洋学校（現長岡高等学校）・東本願寺教師校英学科・東京大学予備門・東京大学文学部哲学科へと進学しました。そして明治20年（1887）、29歳の時に東洋大学の前身となる哲学館を現在の東京都文京区に創立します。円了は生涯を通して全国巡回講演を行いました。この講演はもともと哲学館の専門科設立の基金募集のために始められたものでしたが、その内容は、哲学や宗教について伝えるとともに迷信の打破をめざすものでした。

明治26年（1896）には、迷信打破のために『妖怪学講義』を発表し、「妖怪研究会」を設立します。こうした活動が、「お化け博士」「妖怪博士」と呼ばれる所以です。明治37年（1904）には、「哲学堂」（現在の哲学堂公園内の四聖堂）を建設し、その後、哲理門・六賢台・三学亭などが整備され、現在の哲学堂公園が完成しました。

このような活動をする一方で、長期の世界旅行に3度も出かけ、欧米・アジア・アフリカ・インド・南米・北米・オーストラリアなど、各地を訪れました。『欧米各国政教日記』（明治22年・哲学書院発行）や『西航日録』（明治37年・鶏声堂発行）『南半球五万哩』（明治45年・丙午出版社発行）にその様子が記録・考察されています。

生涯を通して国内外を精力的に巡講した円

了ですが、大正8年（1919）6月、中国（当時は満州）の大連で講演中に脳溢血により倒れ息を引き取りました。享年61歳でした。現在は、中野区江古田一丁目の蓮華寺内の墓に眠っています。この墓は円了が生前にデザインしたものです。

円了が国内外から持ち帰った多くの収集品は、生前から、哲学堂内の无尽蔵や六賢台に陳列されていました。円了の死後、哲学堂は財団法人化され一般公開は継続されていましたが、昭和19年（1944）に東京都に無償で寄付されました。昭和50年（1975）には中野区へ移管され、昭和63年（1988）に園内の古建築物を含む公園全体が区の有形文化財に指定されました。毎年、春と秋には古建築物の内部の一般公開も行われています。

円了の収集品は、こうした経緯を経て平成6年（1994）より、当館で管理をしています。

今年度、館内に新たに井上円了コーナーを設け、資料の一部の常設展示をすることにしました。100年以上前の資料ばかりなので、傷みの少ないものや常設展示に耐えられるものを選別して公開しています。哲学堂公園の古建築物・蓮華寺の円了の墓と併せてご覧いただければ幸いです。



ビリケンさま



土瓶

文化財よもやま話

特別展「中野を語る建物たち

～大正・昭和前期建造物調査報告書～

2011年9月3日(土)から9月25日(日)まで、歴史民俗資料館の2階ロビーで特別展「中野を語る建物たち」を開催しました。実は今年3月に同名の報告書『中野を語る建物たち ～大正・昭和前期建造物調査報告書～』が刊行されました。同書は平成18年より、当館職員および専門家によって行われた調査結果を取めたものです。この調査により777棟の歴史的に貴重な建物を確認しました。この調査結果を報告書だけで終わらせるのではなく、一人でも多くの皆さまに知ってもらおうと、同展を企画しました。一棟一棟はとても個性的に見える建築物ですが、建築にも流行があり、いくつかの流れ(様式)に分けることができます。同展では調査結果から代表的なものをピックアップし、写真パネルを中心に年代を追いながら、様式ごとにご紹介しました。ここでも、その流れや様式を簡単にご説明いたします。

調査の中で一番古い建物はやはり農家建築です。かつて農村であった中野区では、武蔵野の原風景である茅などをのせた草葺屋根の民家や土蔵がまだわずかながらにみられます。街道筋には出桁^{だしげた}建築という商家建築が残っていました。そして近代に入ると、鉄道の開通により急激な都市化を迎えた中野に洋風の佇まいを見せる洋風建築や、玄関脇にまるで洋館のような一部屋をつくった洋館付住宅と呼ばれる建築様式が入ってきます。また大正12年の関東大震災は中野にも被害をもたらしましたが、都心より看板建築という、建物の正面をキャンバスにでも見立てたような建築ももたらします。さらに三岸好太郎や向坂逸郎といった芸術家や学者たちによって、モダニズム様式や数奇屋^{すきや}建築といった住宅もみることができます。このように洋風建築や看板建築などを多く見ることができた背景には、おそらく中野が都心よりそう遠くないことと、そのために文化が流れ込み易かったことが想像されます。

また期間中特別講演会も開催し、多くの方にご聴講いただきました。お二人の講師の方からは、それぞれ「中野の建物について」と「沢庵農家から洋館へ」と題して講演をしていただきました。お二人とも実際に調査をしていただいた専門家の方で、講演ではたくさんのスライドを使い、調査をした建物をご紹介くださいました。

このように多くの建築様式がどうして、そしていつから入ってきたのかまだわかりませんが、今回の特別展や講演会によって多くの方から反響の声をいただきました。報告書は歴史民俗資料館の調査研究室でいつでもご覧いただけます。あらためて私たちの住むまちを歴史的な観点から見直してみたいかがでしょうか。



農家建築



洋風建築

事業報告

各種事業経過

2010年10月～2011年9月

事業名	内 容	期 間
企 画 展	「中野の商店街展」	10/9～11/28
	「おひなさま展」	2/5～3/6
	「れきみん優品展～『中野区の至宝』セレクション」	6/4～7/24
	「哲学堂と配水塔」	9/23～11/6
名 品 展	「名主のたしなみ そろいの食器」	11/30～2/6
	「五月人形と昭和のおもちや」	4/29～6/15
	「おべんぎよしましよ」	7/23～9/4
	「中野を語る建物たち」	9/3～9/25
夏休み事業	「あんぎん」8/3・6 「学習相談」7/23～8/31 「火おこし」7/30・8/5 「土器作り」7/29 「むかしのくらし体験」8/2・3・4 「張り子作り」8/4 「小田原ちょうちん作り」8/5 「押し絵作り」7/29 「勾玉作り」7/30・31 「江戸紋切でモビール作り」8/6	
講 座	古文書講座 講師：大友一雄氏（国文学研究資料館教授） お神楽講座 講師：萩原正義氏	10/2・9・16 2/23・3/2
公開事業	秋季「山崎家茶室書院公開」 春季「山崎家茶室書院公開」	10/1～11/30 4/29～5/5
埋蔵文化財 対 応	江古田三丁目3番民有地立会 (10/7) 南台五丁目30番民有地試掘 (10/19) 国庫補助 江古田二丁目12番民有地試掘 (10/28) 国庫補助 弥生町五丁目11番民有地立会 (11/10) 江原町二丁目12番民有地立会 (11/26) 本町二丁目33番民有地試掘 (12/2) 国庫補助 野方三丁目26番民有地試掘 (12/7) 国庫補助 大和町二丁目30番民有地試掘 (12/14) 国庫補助 上高田四丁目5番民有地試掘 (1/14) 江古田三丁目合同住宅跡地試掘 (1/5～1/21) 南台三丁目6番民有地 (1/31) 新井四丁目8番民有地試掘 (2/3) 国庫補助 弥生町六丁目7番民有地試掘 (2/7～2/8) 中野一丁目39番民有地立会 (3/4) 弥生町六丁目5番民有地立会 (3/10) 白鷺二丁目48番民有地試掘 (4/21)	江古田一丁目30番民有地立会 (5/23) 南台二丁目40番民有地立会 (5/24) 江原一丁目21番民有地立会 (6/2) 中野一丁目39番民有地立会 (6/7) 江原町二丁目12番民有地立会 (6/10) 白鷺三丁目5番民有地立会 (6/13) 江原町二丁目16番民有地試掘 (7/4) 広町遺跡本調査 (6/13～8/17) 江原町二丁目1番民有地立会 (7/7) 中央一丁目40番民有地試掘 (3/8) 若宮二丁目20番民有地試掘 (7/21) 国庫補助 若宮二丁目20番民有地試掘 (7/22) 国庫補助 白鷺二丁目29番民有地立会 (7/27) 本町四丁目13番民有地立会 (8/5) 中野一丁目39番民有地試掘 (8/30) 国庫補助 本町六丁目16番民有地立会 (8/31)
そ の 他	小学校3・4・6学年総合学習見学 27校	10月～9月

寄贈資料一覧

2010年10月～2011年7月

敬称略：受入順

資 料 名	点数	氏 名
焚き火のうた 額縁	一括	斎藤 実
五月人形一式	一括	原科 陽子
五月人形一式ほか	一括	松田 慶三
アルバム類一式ほか	一括	沼袋小学校
揮発油配給券	1	永瀬 道衛
絵馬一式	一括	小林 庸浩
雛人形一式	一括	平山ゆたか
女性用モンペ、袴	2	荒井 澄子
教育勅語(手本)	1	鈴木 政子

◎貴重な資料をありがとうございました。厚く御礼申しあげます。

入館状況

2010年10月～2011年9月(延べ297日間) (人)

一 般	団 体	学校教育	合 計
31,460	162	1,752	33,374

発行年月日 2011年10月1日

編集・発行  山崎記念
中野区立歴史民俗資料館

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4

☎ 03 (3319) 9221 FAX 03 (3319) 9119